

# 令和3年度 美浦保育園の自己評価について

保育士等が保育の質の向上を図る目的で実施した自己評価を踏まえ、当園の保育の内容について園全体の評価として取りまとめたので公表致します。

## 自己評価の取り組みと目標

個々の保育実践の振り返りと自己評価の実施、キャリアアップ研修で個々が学んだ事をもとに研修内容を組み立て園内研修をもつ等、保育計画と保育実践の共通理解を図り、園全体での評価に繋げることで保育の質の向上に努めました。令和3年度は、環境を通して行う保育（人的・物的・空間・自然や社会事象等）がコロナ禍で思うように活動することができなかったとの意見が多数あがり、今年度は工夫しながら職員間で報告・連絡・相談し、情報の共有化を図り、今後も子ども達が安心して過ごせる環境を整え、保護者や地域社会のとの信頼関係を築いていきたいと思ひます。

## 今年度の評価点

- ・各クラス保育方針・保育目標に沿い、子ども達の個々の発達に応じて保育を行うことができた
  - ・クラス用の絵本、教材、月刊本を活用し、保育の中で活かすことができた。
  - ・コロナ禍で少ない行事の中、年長が運動会で美浦保育園のエイサーを演舞する事ができた。
- 美浦保育園のエイサーが完成したことが良かった。

## 園全体評価

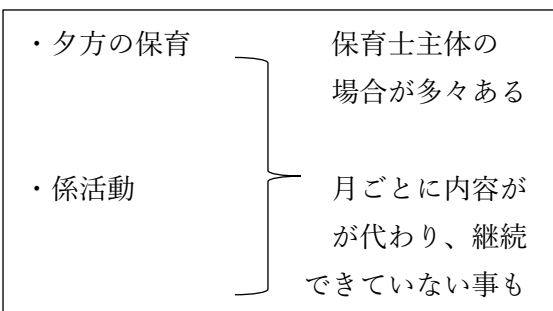
- ・食育で各クラス野菜を育て、観察し成長過程を知ることができた。乳児は収穫した野菜に触れたり、幼児は野菜を使ったクッキングを行い、栽培から食するまで体験することができ、良い経験となった。育てる喜び、作る楽しさを味わうことができた。
- ・発達の気になる子に特性をふまえた保育を行い、支援につなげることができた。
- ・コロナ禍で、園でできる事を実践し、リーダー主体で係活動を活発に行うことができた。

## 次年度の改善点

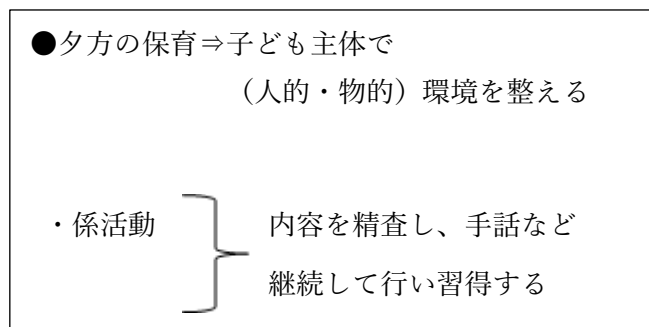
自己評価について職員間で話し合った中で、報・連・相がまだ十分ではなく、情報の伝え忘れ等があり、共有できていない部分があった。（遊具や設備の安全確認等）

- ・係活動も活発だったが継続できていない部分もあった。
- ・夕方の保育、過ごし方や環境設定など保育士の配置の工夫や配慮が不十分だった。子ども達を主体に、降園するまで遊びこめるように環境（人的・物的）を整えていけるように努めることになりました。

### 【令和3年度】 計画と実践



### 【令和4年度】 保育計画



## 総評

保育士自身の保育の振り返りから園全体への振り返りとなり、夕方の保育の行い方や係活動を継続して行い、保育士自身が習得するまで内容を精査し、今年度は改善を図りたい。令和4年度からは、上記のように職員一人ひとりが、意識を持ち報告・連絡・相談し情報の伝達、共有化し保育の質の向上を図りたいと思ひます。